

五霞 議会だより



No.165



第16回五霞町文化祭2022



第16回五霞ふれあい祭り・第22回健康福祉まつり

- 令和4年第3回定例会
- 常任委員会・決算特別委員会
- ここが聞きたい一般質問
- 令和4年第2回臨時会・常任委員会研修報告
- 特集 中学生議会
- 議会トピックス・令和4年第4回定例会(12月)の予定



「議会だより」を
スマートフォンな
どで見ることがで
きます。

令和4年第3回定例会（9月）

令和4年第3回定例会を9月5日から9月16日の12日間の会期で開催しました。
本定例会では、令和3年度各会計決算をはじめ、条例の一部改正や補正予算などの議案が提出され、審議の結果、全ての議案を原案のとおり可決しました。
一般質問には、3人の議員が登壇し、町に対して質問を行いました。

開 会	
9月5日	○議案等の上程・委員会付託等
9月6日	○経済建設委員会（付託議案審査） ○総務文教委員会（付託議案審査）
9月9日	○決算特別委員会（付託議案審査）
9月12日	○決算特別委員会（付託議案審査）
9月13日	○決算特別委員会（付託議案審査）
9月14日	○一般質問（3名）
9月16日	○委員長報告・質疑・討論・採決 ○追加議案の上程・採決
閉 会	



令和3年度 各会計決算を認定

（単位：千円）

会 計 名		令和3年度 歳入決算額	令和3年度 歳出決算額	歳入歳出差引
一 般 会 計		5,864,891	5,417,810	447,081
特別会計	国 民 健 康 保 険	988,146	927,887	60,259
	後 期 高 齢 者 医 療	203,827	203,274	553
	介 護 保 険 事 業	809,779	788,449	21,330
	公 共 下 水 道 事 業	574,050	567,390	6,660
	農 業 集 落 排 水 事 業	186,320	180,238	6,082
	小 計	2,762,122	2,667,238	94,884
企業会計	水道事業（収益的収支）	492,186	447,670	44,516
	水道事業（資本的収支）	603,810	772,556	△ 168,746
	小 計	1,095,996	1,220,226	△ 124,230
合 計		9,723,009	9,305,274	417,735

審議結果

議案番号	件 名	結 果
諮問第 1 号	人権擁護委員の候補者推薦につき意見を求めることについて 異議がない旨を町長へ答申	全員賛成
承認第 5 号	専決処分の承認について（令和 4 年度五霞町一般会計補正予算（第 2 号）） 補正額 4,570 万 7,000 円増 補正後総額 44 億 7,265 万円	全員賛成
議案第 40号 （総）	五霞町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う条例の一部改正	全員賛成
議案第 41号 （総）	五霞町太陽光発電設備の適正な設置に関する条例の一部を改正する条例 施設廃止や撤去の届出を義務化など条例の一部改正	全員賛成
議案第 42号	工事請負契約の締結について（令和 4 年度五霞町環境浄化センター 沈砂池及び再利用水等機械設備更新工事） 契約金額 1 億 5,620 万円 契約の相手方 株式会社 前澤エンジニアリングサービス 関東支店	全員賛成
議案第 43号 （総）（経）	令和 4 年度五霞町一般会計補正予算（第 3 号） 補正額 5 億 3,875 万 3,000 円増 補正後総額 50 億 1,140 万 3,000 円	全員賛成
議案第 44号 （総）	令和 4 年度五霞町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号） 補正額 5,083 万 3,000 円増 補正後総額 11 億 2,110 万 7,000 円	全員賛成
議案第 45号 （総）	令和 4 年度五霞町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号） 補正額 462 万 1,000 円増 補正後総額 2 億 1,902 万 1,000 円	全員賛成
議案第 46号 （総）	令和 4 年度五霞町介護保険事業特別会計補正予算（第 2 号） 補正額 2,046 万 9,000 円増 補正後総額 8 億 1,579 万 9,000 円	全員賛成
議案第 47号 （経）	令和 4 年度五霞町公共下水道事業特別会計補正予算（第 2 号） 補正額 30 万円増 補正後総額 6 億 4,298 万 7,000 円	全員賛成
議案第 48号 （経）	令和 4 年度五霞町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号） 補正額 30 万円減 補正後総額 1 億 9,804 万 3,000 円	全員賛成
議案第 49号 （経）	令和 4 年度五霞町水道事業会計補正予算（第 1 号） （収益的収入及び支出）補正額 279 万円減 補正後総額 4 億 8,421 万 3,000 円 （資本的支出）補正額 184 万 3,000 円減 補正後総額 5 億 1,943 万円	全員賛成
発議第 4 号	五霞町議会決算特別委員会の設置	全員賛成
請願第 1 号 （総）	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	全員賛成
意見書第 1 号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	全員賛成

（総）＝ 総務文教委員会付託 （経）＝ 経済建設委員会付託

※議案第 50 号から議案第 56 号については、令和 3 年度各会計決算となります。

報 告

○令和 3 年度五霞町財政の健全化判断比率等について

○債権の放棄について

○令和 3 年度五霞町水道事業会計継続費精算報告書について

常任委員会 Q & A

Q 茨城租税債権管理機構への町からの負担金算出方法は。

A 茨城租税債権管理機構は県内44市町村で構成されています。負担金は均等割（各市町村5万円）＋件数割（機構への委託件数）＋実績割（前々年度の徴収実績の10％）という計算方法です。

Q 町子どもたちに対し、指導する職員の専門性が求められる※適応指導教室の現状は。

A 正式な適応指導教室の開設には至っていませんが、学校と連携しながらメンタルフレンドを中心に保護者からの相談や児童・生徒の受け入れを実施しています。

※適応指導教室・・長期欠席をしている不登校の小中学生を対象に、学籍のある学校とは別に公的な施設に部屋を用意し、そこで学習の援助をしながら本籍校に復帰できることを目標に運営する教室のこと。

Q 新4号国道冬木橋における維持補修工事の内容は。

A 工事内容については、強度が増す補修材料でコーティングする工事を予定しています。



太陽光発電設備の適正な設置に関する条例の改正について

Q 事業者から設置完了の届出があったときは、現地確認する旨が条例に記載されているが、現地確認時に事業者の立会は求めないのか。

A 事業者の立会は必要なので、別途規則を定めて実施します。

Q 事業に変更があったときは、速やかに届け出なければならない旨が条例に記載されているが、新設に近い変更があったときは、現地確認と事業者の立会が必要ではないか。

A 変更の程度に応じ、別途規則を定めて実施します。

Q 設備の撤去完了の届出があったときは、現地確認する旨が条例に記載されているが、現地確認時に事業者の立会は求めないのか。

A 事業者の立会は必要なので、別途規則を定めて実施します。

Q 事業者が設備を設置するにあたって、地元住民の同意は必要ないのか。

A 手続き上、地元住民の同意を得る必要はありませんが、事業者に対して、必要であれば地元住民への説明会を開催するなど、理解を得るようお願いをしています。

決算特別委員会 Q & A

Q 令和3年度の決算を踏まえて、令和5年度の予算編成は。

A 持続可能な財政運営、まちづくりを実現するために安定財源の確保と歳出のコントロールを基本に、中期財政見通しを改訂し、来年度の予算編成につなげていきたいと考えています。

Q 役場庁舎建て替えの進捗状況は。

A 茨城県の関係課との許認可調整を実施し、開発許可条件の検討を行っている段階です。



Q 役場職員のテレワーク環境の整備状況は。

A 自宅にインターネット環境があれば、職員が所有しているPC又は貸し出し用のPCでテレワークをすることが可能となっています。

Q インターチェンジ周辺開発に伴う固定資産税（土地・建物）の収入額は。

A 令和2年度は約1億8,700万円、令和3年度は約1億9,600万円という状況です。



Q 町に居住する外国人の方への課税状況は。また、一般永住者と特別永住者の人数は。町内在住の外国人の方への生活保護費の支給実績はあるのか。

A 日本人、外国人に関わらず課税条件にあてはまる場合は課税をしています。令和3年度末で一般永住者が69名、特別永住者が4名となっています。町内在住の外国人で生活保護を受けている方はいません。

Q 町内認定こども園のバス送迎の安全管理方法は。

A 両園とも、お迎えの際、バスを降りる際、教室にきた際というタイミングで二重・三重の確認を行っています。



Q 町内の認知症カフェの活動実績は。

A 毎月第3金曜日に、ボランティアの方、地域包括支援センター職員、役場職員で認知症の当事者と家族を対象に孤立支援対策として交流できる場を提供しています。

認知症カフェ ～オレンジカフェ Go Café 心音～
開催日：毎月第3金曜日
午後1時30分～3時30分
開催場所：ひばりの里



決算特別委員会 Q & A

Q 道路側溝が農業用排水路に接続されている場所があるが、農業用排水路がごみや草で非常に詰まりやすくなっているので、対策は。

A 農業用排水路は、田んぼと密接して設置されているため、泥や雑草等が堆積して詰まることが多々あると思われます。全て解消するには予算的にも難しいところがあるため、支障をきたしている部分については土地改良区と協力して対処してまいります。

Q 水道事業における※給水原価と※供給単価は。

A (税抜)

	給水原価	供給単価
令和2年度	234円 50銭	212円 57銭
令和3年度	240円 37銭	212円 52銭



※給水原価 水道水 1 m³あたりの製造単価。年間の水道水を供給するために要した薬品費、動施設の維持管理などの費用を有収水量で割った値。

※供給単価 水道水 1 m³あたりの販売単価。年間の水道料金の収入を有収水量で割った値。

Q ごかりん号の運行ルートに含まれていない行政区があるが、ルート変更等の検討状況は。

A 現在は、社会福祉協議会の公共交通空白地有償運送にて対応していますが、今後のごかりん号でカバーできるようにルート変更も検討していきたいと考えています。



Q 児童が下校する際に行政防災無線を利用して住民に周知できないか。

A 防犯面を考慮し、検討していきたい。



行政防災無線



Q 公立小中学校の教員不足に対する対策は。

A 学校、教育委員会と県西教育事務所が連携して、不足した人員の確保に努めています。



問 洪水による水害の減災対策について

答 備えが重要、マイ・タイムライン作成を周知していく

事前対策でダメージを減ずる。

問 水害ハザードマップにある浸水想定水深の根拠は。町を横断する程の浸水に対する水の流れのシミュレーションは。

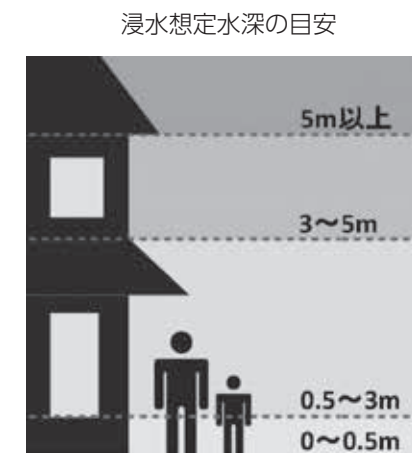
生活安全課長 水防法の改正に基づき、想定し得る最大規模の降雨に対応した浸水想定区域が国によりシミュレーションされ公表されていま

す。町のハザードマップは、利根川水系八斗島より上流域の72時間総雨量491ミリの想定。町を横断する程の浸水時の水の向きや流量のシミュレートはされていませんが、浸水ナビや地点別浸水シミュレーションにより、経過時間ごとの浸水深や浸水エリアが検索でき、浸水の想定に有効と考えられます。

問 町民の避難以外で具体的な減災対策は。例えば、自家用車・公用車の防水対策、住宅床下への浸水防止策、上下水道施設の浸水対策など。

生活安全課長 減災対策の基本は“自助”にあり、そのため今後ともマイ・タイムライン作成講習会等を継続して開催していきます。

さらに、平時の体制づくりや各種防災訓練等を実施。警戒時には情報伝達に万全を期すとともに、土のうの配布や自主避難用に中央公民館を開所します。公用車は人的被害を最小限に抑えることを第一に考え行動した上で、可能な限りの浸水対策を実施します。ご提案の自家用車用浸水防止



(出典) 国土交通省資料を基に作成

シートや住宅床下の浸水対策等は減災に有効な手段と考えられます。このような町民の皆様からの工夫などは講習会等での紹介を検討します。上下水道施設は事業継続計画等に基づき、災害時の社会的影響が最小になるよう努め、効率的な浸水対策を考えてまいります。

水害時床下への泥水侵入防止策
通気口遮蔽板設置前



通気口遮蔽板設置後



自動車用防水シート(イメージ図)



問 分散避難を含めた水害対策の啓発手段は。

生活安全課長 マイ・タイムライン作成講習を中学生に毎年実施、昨年度は全町民を対

象に実施、今年度は防災訓練において実施予定です。広報紙での水害特集やスマホセミナー等も実施しました。分散避難は避難所の混雑緩和等に

有効であり、自宅での垂直避難や遠方への避難等についても有効な手段であると周知していきたいと考えています。



問 ふるさと納税について

答 大きな財源確保のために重要な部分である

ふるさと納税、企業版ふるさと納税は自主財源確保の一つの手段として、自治体の稼ぐ力が試されていると考えるが。

問 ふるさと納税の寄付金の現状は。

まちづくり戦略課長 令和2年度が4,518万9,000円に対して、令和3年度は8,105万5,000円と、前年度に比べ179%と大幅な増となっています。また、令和4年度につきましては、現状の伸びを見て、1億5,000万円ほどの寄付金額を見込んでいるところです。

問 ごかみらいLabの取り組み内容は。

まちづくり戦略課長 地元農産品を生かした返礼品開発のほか、返礼品登録に係る手続き

や発注、請求業務などを代行するなど、生産者又は企業の負担を少なくして返礼品を登録できる体制を取っています。



問 ふるさと納税に特化した部署を庁舎内に設立しては。

副町長 役場職員のみならず、民間からの人的、技術的な支援や協力をいただけるような体制づくり、そして、スペース等のハード面の整備も必要ではないかと考えています。

問 企業版ふるさと納税を募集する主な事業の目的と内容

は。

まちづくり戦略課長 今年度につきましては、令和6年度の小学校の統合に向けて整備する校舎の改修事業を掲げて、寄付を募集しているところでございます。

問 今後トップセールスも必要と考えるが。

町長 町内60数社ありますので、まずは町内の企業を回ってお願いしたいと考えています。

問 今後の戦略は。

町長 今後は、ごかみらいLabを商社的な部署に立ち上げて、ふるさと納税の対応だけではなく、新商品の開発や地域ブランディング、観光面などを含めた新たな組織に立ち上げていければと考えているところです。





問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は町や住民の状況をとらえた事業活用がなされているのか

答 感染防止対策や住民の生活や経済、事業支援、物価高騰対応等、幅広い視点で事業活用をしている

本臨時交付金は感染拡大の影響を受けた地域経済や住民生活を支援する目的で、町も令和2年度より交付金の事業を展開している。また、本年9月9日には国対策本部から新たな地方交付金の創設

が示されているが。

問 現在までの交付金を充当した事業は。また、今後の交付金の活用は。

まちづくり戦略課長 交付金充当事業は表に示したとおりで

す。なお、9月に通知された交付金はエネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者向けの事業と推察しますが、今後、国の情報を注視しながら町の実情に合った支援事業を進めていきます。

表 - 1 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 令和2年・3年度及び4年度事業概要

令和2年・3年度事業の対象	活用事業数	令和2年・3年度 主な事業内容	交付対象経費	割合
地域支援	25	プレミアム商品券の発行、子育て応援給付、道の駅ごか周辺整備(スポーツパーク等)他	92,687千円	42%
感染防止対策	17	防災ステーションごか隣接地整備、感染防止必需品供給他	56,526千円	26%
教育環境整備	8	児童・生徒1人1台パソコン整備、教員オンライン学習研修他	34,612千円	16%
新しい生活様式への環境整備	11	庁舎等施設空調、庁舎電算システム整備、公園整備他	26,845千円	12%
事業者支援	1	中小企業者への給付	7,939千円	4%
合 計	62		218,609千円	100%

令和4年度事業の対象	活用事業数	令和4年度 主な事業内容	交付対象経費	割合
物価高騰の影響を受けた生活者や事業者支援	継続中	○物価高騰の影響を受けた米農家への支援 ○小中学校の給食費の免除	25,158千円 (全体67,029千円)	38%

問 公共交通の今後について

答 町民に納得してもらえる公共交通の構築に努めていく

令和3年度監査委員の意見書で財政状況を考慮し、コミュニティ交通の費用対効果や利用実態に合わせた運行が要望された。また、代替バス五霞町役場～幸手駅の運行も、地域情勢変化を考慮し、検討すべき段階にあると考えるが。

問 先に開催された公共交通会議の議題は。

生活安全課長 主に今年度の町コミュニティ交通運行計画、地域内フィーダー系統保

持維持計画について提案し、承認をいただいております。

問 代替バスの運行状況の把握は。

生活安全課長 利用実態の把握に必要な情報の収集と提供を引き続き朝日自動車(株)に要望してまいります。

問 代替バスの小型化等は。

生活安全課長 現在使用している車両の原価償却が終了し、本年度以降、一般財源か

らの経費負担の抑制が図られることから、小型車導入等は慎重な検証が必要と考えております。

問 幸手市との協議は。

生活安全課長 今年度から幸手市地域公共交通会議に五霞町職員が委員として参画することになっており、代替バス等の運行について利活用を含め更なる連携の強化を要望していきたいと考えます。

令和4年第2回臨時会

臨時会を10月31日に開催し、教育長人事や補正予算について可決しました。



審議結果

議案番号	件 名	結 果
議案第 57号	五霞町教育委員会教育長の任命同意について 森田恵美子 氏	全員賛成
議案第 58号	令和4年度五霞町一般会計補正予算（第4号） 補正額 1 億 3,507 万 1,000 円増 補正後総額 51 億 4,647 万 4,000 円	全員賛成
議案第 59号	令和4年度五霞町水道事業会計補正予算（第2号） （収益的収入及び支出） 補正額 116 万 2,000 円増 補正後総額 4 億 8,537 万 5,000 円	全員賛成

経済建設委員会

11月10日、町の主要事業について視察研修を行いました。

視察項目 ○ごかみらいLab（道の駅ごか内）

○ストリート・スポーツパークごか

令和3年度から道の駅ごか内に設立された「ごかみらいLab」を訪問し、活動実績や今後の事業展開等を伺いました。Labでは、地域農産物の6次産業化をはじめ、町内企業との連携などを図り、地域活性化と農業振興に日々努められています。さらに、ふるさと納税返礼品の掘り起こしにより、町への寄付額が大きく伸びているとの報告がありました。

また、10月末にリニューアルオープンした「ストリート・スポーツパークごか」は、新たなセクションも増え、当日もスケートボードやバスケットボールなどを楽しむ若者で賑わっていました。



五霞町ふるさと納税実績

	返礼品数	寄付金額
令和2年度	43	4,407万2,000円
令和3年度	263	8,132万1,000円

総務文教委員会

11月14日、町の主要事業について視察研修を行いました。

視察項目

○五霞町立統合小学校及び小中一貫教育施設整備工事

令和6年4月に開校予定の町立五霞小学校の整備に係る事業の概要及び進捗状況等を確認するため現地視察を行いました。

当日は、子どもたちが校庭で体育の授業中でしたが、その奥では、安全対策を講じつつ、プールの解体工事が着々と進められていました。また、教育委員会事務局から校舎改築工事に伴い建てられる仮設校舎の概要や今後の工事スケジュール等について説明がありました。

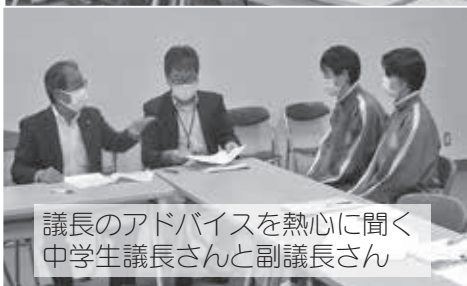
今後も事業が安全に、そして順調に進むよう見守っていきたいと思います。



中学生議会に向けて

11月22日に令和4年度五霞町中学生議会を開催しました。

五霞中学校1年生及び2年生の各クラス代表2名と議長・副議長役の中学生議員10名が、町が直面する課題を踏まえ、これからのまちづくりに対し町へ提案や質問を行いました。今号では、開催に向けて行われた準備の様子をレポートしてお届けします。詳しい内容については、次回の議会だよりにてお伝えします。



町議会議員が中学生議員をサポート

各学級で話し合った内容を、クラス代表の中学生議員が町への提案書としてまとめた資料を町議会議員がサポートし、仕上げのお手伝いをしました。

中学生の思いがより町へ伝わる提案の仕方や質問のポイントなどを町議会議員からアドバイスしました。



議会トピックス

学校給食を試食しました

町内小・中学校で提供されている給食の試食会を行いました。学校給食は、今年4月から境町に調理等の業務を委託し、各町立学校に搬入されています。育ち盛りの子供たちのため、栄養のバランスや味付けに配慮され、月ごとの献立表に並ぶメニューはバラエティ豊かです。給食を通じ、食事の大切さや楽しさ、食文化などを学びきっかけにもなっていると感じました。町教育委員会には、今後も子供たちに安心して安全な学校給食の提供をお願いしました。



～献立～

- ・ごはん・牛乳
- ・韓国風焼き肉炒め
- ・ワンタンスープ
- ・スティック
スイートポテト



(参考) この献立のエネルギー
○小学 3.4 年生 : 725kcal
○中学生 : 893kcal

令和4年 第4回定例会(12月)の予定						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5 本会議 (開会)	6 常任委員会	7	8 本会議 (一般質問)	9	10
11	12 本会議 (閉会)	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

ライブ中継

※開会日・一般質問・
閉会日のみ

ライブ中継は、役場庁舎1階小会議室もしくは2階委員会室にて、ご自由にご覧いただけます。お気軽にお立ち寄りください。

YouTube 録画配信

本会議の様子を録画して配信をしています。

YouTube
「五霞町議会公式チャンネル」



※日程は変更になる場合があります。詳しくは、議会事務局へお問い合わせいただくか、町公式ホームページをご確認ください。
※本会議を傍聴の際は、マスクの着用をお願いします。また、傍聴者多数の場合は、別室からライブ中継でご視聴いただく場合があります。

編集後記

編集委員 山本芳秀

我が家の庭木も今年は例年に無く青さが薄れ若干疲れているような気がします。季節の移り変わりもあるでしょうが、近年の夏場の猛暑が原因かと自分なりに分析したりもしています。さて、少子、高齢化によりその対策に本腰を入れてきた自治体も多く見受けられます。そこで、我が五霞町は。と考えることが多々あります。樹木同様、青さが失せぬよう頑張らねばと思うこの頃です。時に、原点に立ち返り、地域の歴史や文化をもう一度見直すことも一つの方策かと思えます。そこに、まちづくりのヒントがあるような気がします。「故きを温ねて新しきを知る」この諺がふと思い浮かびます。もう一歩皆で頑張りましょう。



広報編集特別委員会

委員長	黛 丈夫
副委員長	江 森 美佐雄
委員	新 井 庫
	植 竹 美智雄
	山 本 芳 秀
	小野寺 宗一郎

